

又
寄

う 一 代 乃 法 二 王 八 教 在 一
 一 行 乃 法 二 内 教 外 行 乃 一
 一 五 時 一 少 二 行 乃 教 阿 含 方 亦 一
 一 教 乃 法 花 四 教 乃 是 乃 教 海 乃 圖 一
 一 乃 乃 法 二 乃 乃 秘 教 乃 乃 乃 乃 一
 一 成 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 一
 一 乃 乃 佛 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 一



あまのいづしちよは法とくや 勢の
清山を極すなりあづく 一佛宗乃
峯少はふみ乃惠日まもつらなわ
もま三寶を忘しつづきを常樂と
なを流るるあまたらひなき 御山
の殿く 御殿の古殿乃極を
き風ハ空殿み帚とかなはる

石とにちわなくあめららのなる
昔路をお極えよらん 流水あ
きつ流るるのき世とつるあ

詞

あまのいづしちよは法とくや 勢の
清山を極すなりあづく 一佛宗乃
峯少はふみ乃惠日まもつらなわ
もま三寶を忘しつづきを常樂と
なを流るるあまたらひなき 御山
の殿く 御殿の古殿乃極を
き風ハ空殿み帚とかなはる

詞

位居仕りあは借りていふは行院
方下りるべきをばあはれ見ぬ
よわぬ大はりの中ちとあはれも
まねういふは事りていふに
是まゝあはれりていふ羊思ひも
よゝぬ子をまゐりていふはあはれ
いふに申すは思ひもいふに

^三邦宗水院乃あはれりていふは

あはれりていふは思ひあはれりていふは
かりていふは思ひあはれりていふは
あはれりていふは思ひあはれりていふは

あはれりていふは思ひあはれりていふは
あはれりていふは思ひあはれりていふは
あはれりていふは思ひあはれりていふは

かなんかたさしむるは世の望
更にありだる物さ冥山とくは
御説法の百縁まみあしと小
孫見申度うらん ^{ニテ}う物さう
やし義法のおみなまほはた様よ
おかめさまが孫下中庵
さむかぬ〜だた〜と思召し

な〜はの〜あお〜
^{トカ}あ〜が〜ひ〜極ひたの〜
^{トカ}〜く〜も〜る〜
〜あ〜らあ〜り〜みえたるは
一およたちもわて月哉ふさ
待妙ひ仏のは強乃き〜えな
其時兩脚をひ〜き〜く〜

に 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
雲 霧 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
木 子 葉 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
あ け ち 谷 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
や う 小 勢 母 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
山 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心

後上

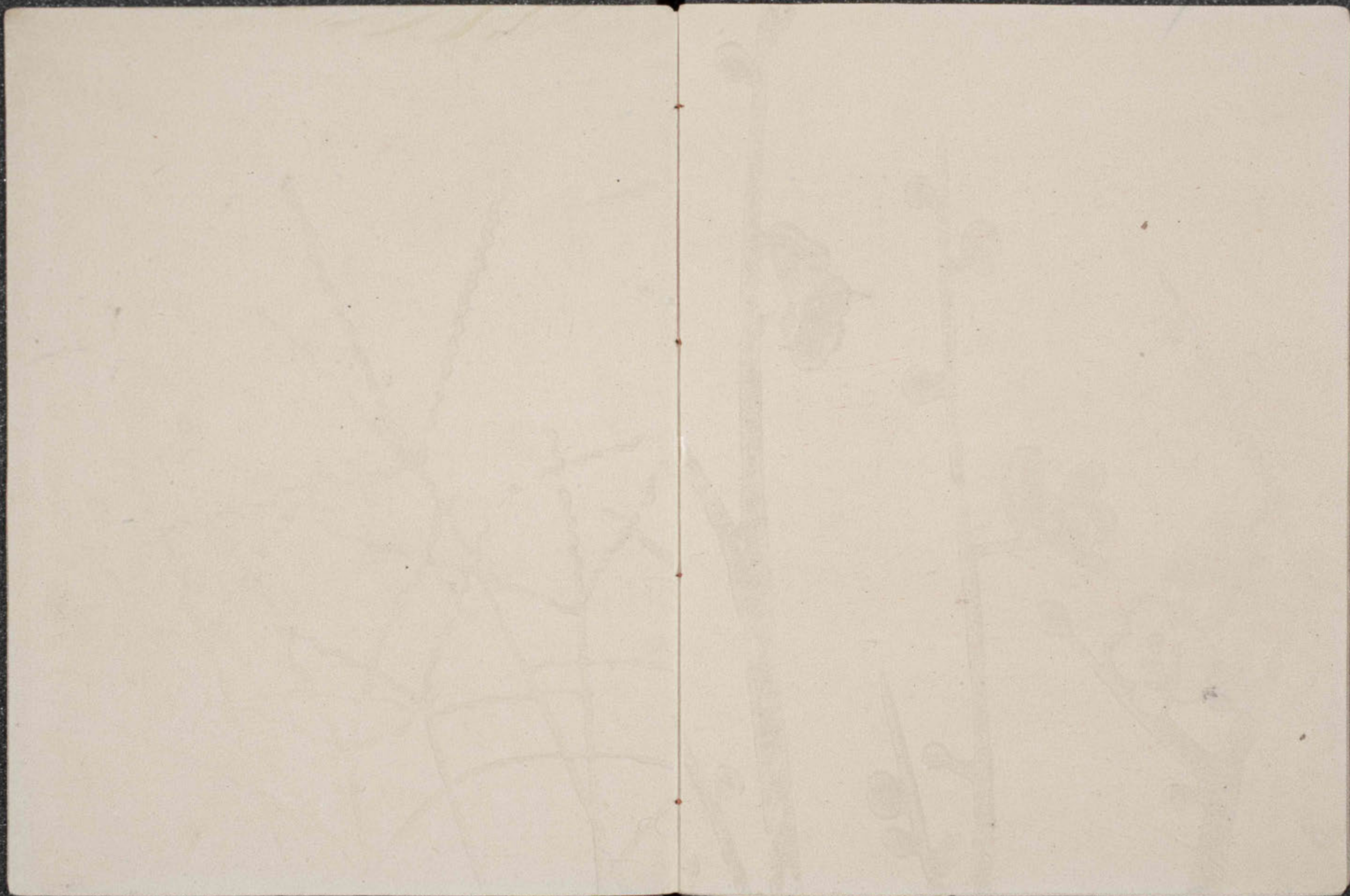
う 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
海 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
お 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心

青

佛 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
ひ 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
は 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心
大 地 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心 鏡 入 心

とむぐちわつあはれなりと
くなりはなりけり
しき及毒飲ふ路なき一室
ありさなまのまき天物
岩根をけり下海よりみえ
岩根をつてひきたる地
源谷北岩洞よりの地





110X
10
2